

六ヶ所村・・・ヴァーレン市  
(ドイツ連邦共和国、メクレンブルク・フォアポンメルン州)  
Waren, Mecklenburg-Vorpommern, F. R. of Germany

1 提携年月日 平成6年4月22日(友好都市協定書調印の日)

2 姉妹都市の概況

ヴァーレン市は、ドイツ連邦共和国の最北部のメクレンブルク・フォアポンメルン州に属し、人口22,000人の市である。ベルリンからバルト海に面した港湾都市ロストック市に通じるアウトバーンで110km、国道で30kmのところにある。総面積は15,800haでドイツ最大の内陸湖「ミューリッツ」を含む水面面積は610haを占める。全面積のうち、6,400haが自然公園法により開発が規制されており、森と湖など自然が豊かなところである。

市街地は700年の歴史を有する典型的な中世の都市で、石畳道路にレンガ造りの家などヨーロッパ独特の街並み景観を持っている。

産業としては、農業、漁業、林業、木材加工などの第一次産業が主体であるが、最近ではミューリッツ湖を望む郊外に50haの工業団地を造成し、企業誘致を図っており、機械工業等が新たに生まれ、更に1996年から開始された100haの商工業地区の再開発整備事業は今後の産業誘致の基盤として整備されている。また、市の計画として、今後恵まれた自然を生かした保養地にしたいと考えており、スイミングプール及びクアハウスといった施設を整備し、観光客の誘致を図ることとしている。

3 姉妹・友好提携までの経緯

村では原子燃料サイクル施設の立地に伴い外国人の来村も増大することから将来的な施策の一つとして国際交流を推進している。また、一方において村の基幹産業である農業酪農等の第一次産業の振興を図っており、農畜産物の付加価値を高めるための施設として牛肉処理加工施設を計画した。施設の運営にあたっては、ハム、ソーセージの先進技術を有するドイツの技術を導入する方向で検討をしていた。そのような中で「村まちづくり協議会」が主体となり、姉妹都市の候補地を調査していたものであり、村と似たような状況にあり、ミューリッツ湖畔の観光都市、自然保護と第一次産業を大事にしている等からヴァーレン市を候補地として平成4年9月に訪問した。日本から初めてのお客さんということで大歓迎を受け、市の幹部と懇談し、今後の交流について意見交換した。

その後、平成5年7月にヴァーレン市側の招待を受けて村長、議長、議会農林水産委員長他が訪問し、その際にマイスターの派遣についての検討を依頼すると共に友好提携の意向が固まった。

さらに平成6年4月には、村の招待を受けてヴァーレン市から市長、助役、議長が来村し、友好都市協定を締結した。

4 交流の現状

ヴァーレン市とは、平成6年4月に友好都市協定を締結しているが、平成11年度に今後

のヴァーレン市との友好交流の進め方等について意見交換をするため、村長、教育長、文化協会長が公式訪問した。その後、相互訪問等は行わず広報誌や絵画等の交換を行っていたが、平成14年10月に職員海外研修として9名がヴァーレン市庁を訪問し交流を深めた。平成15年7月には、ヴァーレン市との友好都市協定10周年記念行事に出席するため、助役（村国際交流推進委員長）、国際交流課長が訪問している。

平成16年4月12日付けで、ライブチヒ大学生のザーシャ・アッハナー氏が来日し、1年間研修員として六ヶ所村役場に勤務、10月には職員海外研修として8名がヴァーレン市の視察訪問を行った。また平成17年にはヴァーレン市長一行が村の「たのしむべフェスティバル」参加のため、平成20年には「ろっかしよ産業まつり」参加のため来村し、村民と交流を深めた。

平成24年8月には、平成26年に20周年を迎えるにあたって企画された、友好都市協定締結記念共同プロジェクトであるヴァーレン市における日本庭園造園事業に関する会談のため市長一行が村を訪問した。さらに、翌年7月には副村長ほか4名の村職員がヴァーレン市を公式訪問し、完成した日本庭園の除幕式に出席したほか、同時に行われたヴァーレン市の市制750周年記念祭に参加するなど活発な交流が続いている。

## 5 交流の主な動き

- |          |  |
|----------|--|
| 平成 4年 9月 | 村議会農林水産常任委員長はじめ各種団体をメンバーとする欧州産業事情視察団が、姉妹都市の候補地としてヴァーレン市を訪問し、歓迎を受ける。                                    |
| 5年 7月    | 村長、議長、農林水産常任委員長他が市の招待を受けて、ヴァーレン市を訪問し、マイスターの派遣等について依頼   |
| 6年 4月    | ヴァーレン市長、助役、市議会議長が来村し、村との友好都市協定に調印  |
| 7年10月    | 村国際交流推進委員会橋本委員長他がヴァーレン市を訪問し、平成9年に六ヶ所村から食肉加工技術習得のために研修生2名を派遣することに決定                                     |
| 8年 8月    | 文化交流プラザに飾る油絵を作成してもらうために、ヴァーレン市在住の画家を招待   |
| 9年 6月    | ヴァーレン市長一行を文化交流プラザ落成記念式典・絵の除幕式及びこけら落としコンサートに招待した。村長をはじめ村国際交流推進委員と今後の交流について意見交換し、スポーツ・文化交流、子供達の交流等について検討 |
| 11年11月   | 2年程度相互の交流が途絶えていたため、今後の友好都市間の交流について促進を図るため、村長はじめ、教育長、村文化協会長がヴァーレン市を訪問し、文化、スポーツ、青少年交流などについて協議を実施         |
| 12年 2月   | ヴァーレン市に六ヶ所村を紹介するため、六ヶ所村文化協会の会員による、書道、絵画、民芸品など作品50点余りを寄贈  |
| 9月       | ヴァーレン市より、写真集「市街地修復事業10年の歩み」が寄贈される。   |

- 14年10月 六ヶ所村職員海外研修として9名がヴァーレン市を訪問、教育機関を視察
- 15年 5月 村内小学生とヴァーレン市の小学生による絵画交換。村文化交流プラザにて展覧会開催
- 7月 ヴァーレン市との友好都市協定締結10周年記念行事に助役、国際交流課長が参加
- 16年 4月 ヴァーレン市より研修員として、サーシャ・アッハナー氏来日し、1年間の研修を行う。
- 16年10月 六ヶ所村職員海外研修で8名がヴァーレン市を訪問し交流を深める。
- 17年 5月 村の「たのしむべフェスティバル」にヴァーレン市長一行9名が来村し、村民と交流した他、日本文化体験や青森県の観光地視察を行った。
- 18年 7月 ヴァーレン市長の招待により、村の助役一行3名が「ミューリッツ湖祭り」に参加し交流を深める。
- 19年1～3月 ヴァーレン市長の紹介により、ドイツ在住の画家クラウス・ミューラー絵画展を六ヶ所村文化交流プラザにて開催する。
- 19年 9月 ヴァーレン市第1回友好都市国際民俗芸能フェスティバルに招待を受け、六ヶ所村の舞踊団体を派遣し、日舞や新舞踊を披露し文化交流を行う。
- 20年 3月 絵画交換事業でヴァーレン市の小・中・高校生の絵画を村の国際交流イベント時に展示
- 20年10月 村の「ろっかしょ産業まつり」にヴァーレン市長一行10名が来村し、イベントに参加するなど村民と交流を深めた。
- 21年 2月 絵画交換事業で六ヶ所村小中学生の絵画・書道・版画等30点をヴァーレン市に寄贈する。
- 21年 5月 友好都市協定締結15周年を記念しヴァーレンを公式訪問の予定であったが、新型インフルエンザの流行により延期
- 21年10月 議長、国際交流課長、ドイツ国際交流員の3名がヴァーレンを訪問し、今後の交流の在り方などについて懇談
- 22年12月 絵画交流事業でヴァーレン市の小・中・高校生の絵画を村ショッピングセンターに展示
- 23年 3月 絵画交流事業で六ヶ所村の小・中学生の絵画34点をヴァーレン市に寄贈
- 24年 8月 ヴァーレン市長一行4名が来村し、友好都市協定締結20周年記念共同プロジェクトであるヴァーレン市における日本庭園造園事業に関して村長と会談を行う。
- 24年11月 絵画交流事業でヴァーレン市の小学生の絵画を村民文化祭で展示
- 25年 7月 友好都市協定締結20周年を記念し、副村長ほか村職員4名がヴァーレン市を公式訪問。日本庭園除幕式に出席したほか、ヴァーレン市制750周年記念祭に参加し、交流を行う。
- 26年10月 ヴァーレン市長一行3名が来村し、「産業まつり」に参加し村民と
- ～11月 流を深める。また「村民文化祭」の見学や、村の施設を視察する。

- 28年 8月 ヴァーレン市から市行事への招待を受け、村長以下職員2名及び村議会議長以下議員6名、議会事務局1名の計11名がヴァーレン市を公式訪問。ミューリッツ湖水泳大会に出席し、戸田村長がスタートの合図を担ったほか、8月6日の原爆の日に合わせて、平和首長会議の式典へ参加し、旗の掲揚を行った。
- 29年 2月 美術交流事業で六ヶ所村の小学生の絵画作品22点のほか、一般の工芸作品11点をヴァーレン市に寄贈。
- 30年 8月 ヴァーレン市よりドリュール議長を団長とし以下議員4名が来村。  
(当初は市長が来村予定だったが、体調不良のためキャンセル) ねぶた祭他、村内の教育施設や産業、民間会社を視察。
- 31年 1月 尾駈小学校5年生とリチャード・ヴォシドロ・ギムナジウム7年生が文通交流を開始した。
- 令和元年5～8月引き続き、尾駈小学校6年生とリチャード・ヴォシドロ・ギムナジウム7年生が文通交流を行った。
- 10月 ヴァーレン市からの招待を受け、村長以下職員5名の計6名がヴァーレン市を公式訪問した。
- 令和2年度 新型コロナウイルス蔓延のため、相互訪問及び文通交流を中断。